

関谷小PTA総務部の挑戦 ～関小朝ごはんプロジェクト～



那須塩原市立関谷小学校PTA



「関谷小学校朝ごはんプロジェクト」に寄せて

那須塩原市立関谷小学校長 山本 幸子

本校は美しい田園風景が広がる緑豊かな地域にある全児童数146名の小規模校です。次年度の令和5年度には箒根中学校区内の3つの小学校と1つの中学校が統合され、義務教育学校「箒根学園」として新たに生まれ変わります。関谷小学校としての長い歴史を閉じる大切な時期に校長として赴任し、今年で3年目の春を迎えました。その責任の重さとやりがいとを日々噛みしめながら、子供たちと職員、保護者、そして地域の方々と手を取り合って日々を紡いでいます。

現在でも収束の兆しが見えないコロナ感染症ですが、本校での勤務開始が全国的な長期休校期間からであったことは、まったく予期していないことでした。学校が再開した後もコロナ感染症の波は次々とやって来て、学校行事についてもその都度大きな変更や縮小、中止などが必要となりました。校長としての経験も浅い上に不慣れた学校で、過去に誰も経験したことがない状況について判断を迫られる毎日は、大きな迷いと不安の連続でした。

そうした中にあっても学校教育に停滞は許されず、子供たちにとっては一日一日がかけがえのない大切な時間です。一瞬たりとも無駄にすまいと子供たちに寄り添う中で、徐々に彼らに不足していることや必要なものが様々に見えてきました。その一つが、食の充実でした。

両親が共働きで忙しい、片親家庭で子供の面倒が十分に見られない、保護者が病弱である、あるいは、コロナ禍の影響で経済的に苦しくなったなどの様々な理由から、朝食を摂らずに登校する子供たちがいることに気付きました。得てしてそういう子供たちは、朝から元気がなく生活面でも落ち着きがなかったり、友達とうまく人間関係が作れなかったりする傾向があることにも気付きました。

さて、どうしようかと考えていた折、本校PTA会長から「コロナ禍でも子供たちのために何かできることはないか」と声をかけて頂きました。様々な理由から朝食を食べてこない子供たちのことを伝え、「子供たちに学校で朝ごはんを食べさせましょう。以前から、そういうことをやってみたかったんです。任せてください！」と思いきり返答を頂きました。即答でした。そこからのPTA総務部の決断と行動の速さには本当に驚かされました。なぜなら、準備期間はたったの1週間という信じられないスピードで実施の運びとなったからです。

コロナ禍にあって学校で会食をさせることや、教員の働き方改革という観点から早朝に学校を開放すること、自校給食で徹底した衛生管理を行っている調理員への配慮など、直面する課題は山ほどありましたが、「まずはやってみよう！」と令和2年度の11月から「関小朝ごはんプロジェクト」はスタートしました。初年度は毎週月曜日、2年目からは毎週金曜日に「朝ごはん食堂」は開店しています。プロジェクト開始当初はPTA総務部の有志が自腹を切って食材を整えましたが、令和3年度には栃木県PTA連合から研究指定を受け、研究費として補助金を20万円頂くことができました。勢いで始まったプロジェクトでしたが、2年目には実施要項等も作成し、食中毒もカバーできるようPTA連合の保険を拡充して頂くことができました。

最近では食材を寄付して下さる地域の方々も増え、朝6時から始まる調理はお父さん方だけですが、子供たちを送り出したお母さん方が配膳や後片付けなどのお手伝いに来て下さるようにもなりました。地域の市議員さん達がエプロン片手に参加して下さったり、お正月の「年明けうどん」ではプロの方々が手伝いに駆けつけて下さったりと、プロジェクトの輪は広がり続けています。また、中断していた田植えや稲刈りも復活させ、地域と連携した体験活動につなげることができました。

「関小朝ごはんプロジェクト」の誇るべき点はいくつもありますが、何と言っても全校児童が自由に参加できることと本校PTA総務部の結束力の固さは、他のどんな学校にも負けないと思います。季節や行事を考慮して工夫するメニューの多彩さとそれを調理するのは皆、お父さんだということも特筆すべき事でしょう。参加する子供たちは増え続け、毎回100人以上がランチルームに集います。金曜日の朝になると、ランドセルを背負った子供たちが校舎に向かって駆けてくる光景が当たり前になってきました。好きなおにぎりやパンを選び、手作り味噌で作った地元野菜たっぷりの味噌汁をすすれば、途端にどんな子も笑顔になります。最近では先生方も一緒に朝ごはんを楽しむようになりました。

朝ごはんプロジェクトの目的は「朝ごはんをすべての子に提供することで心身を健やかに育み、地域と学校がつながり合って楽しい学校を作ろう」ということですが、その目的は実現されつつあります。3年前は不登校傾向の子供たちが複数いましたが、今ではほとんどいえないようになりました。また、すべての子供たちに活気が生まれ、落ち着いた生活を送ることができるようにもなりました。

これからの学校は地域に開かれ、地域と歩むことが求められています。子供たちは友達や先生と一緒に朝ごはんを食べることで人との繋がりを実感したり、早朝から頑張ってくれる大人の方々へ感謝をしたり、様々な食材を提供して下さる地域の温かさを知ったりと、その心身はふるさとで豊かに育まれています。やがて彼ら自身が地域を支える大きな力に成長することでしょう。

小さな学校のささやかな取り組みですが、そこから得られるものは計り知れないほど大きいと感じています。

(令和4年度日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会発表資料からの抜粋)





朝ごはんプロジェクトへの思い

那須塩原市立関谷小学校令和4年度PTA会長 石川 真澄

本年度、那須塩原市立関谷小学校PTA会長を務めさせていただいております石川真澄と申します。

本校では、令和2年度より週に一度、子供達に対してPTA(おやじ達)が主催して朝ごはんの提供をしています。私も朝ごはんプロジェクト発足時よりPTA役員として携わり今年で3年目を迎えました。

はじめは、塩おにぎりと味噌汁だけの提供でしたが、こんな簡単な料理でも我々、おやじ達は右往左往しながらの提供でした。しかし子供達はただ塩をまぶしただけのおにぎりとは違い、切られた野菜が入ったお味噌汁をおいしそうに大喜びで食べてくれました。

そんな、笑顔で食べてくれる子供たちを見て、胸が熱くなったのを思い出します。

そして私たちも、もっと子供たちに喜んでもらいたいとの思いから、果敢にも様々な献立に挑戦していききました、朝カレーや三色どんぶり、クリスマスにはロールケーキ、1月の最初には年明けうどんなどを提供していききました。その効果からか全校児童の9割が朝ごはんを食べに来てくれるようになりました。

初めは子供たちの為にと始めたプロジェクトでしたが次第に子供たちの様子も変わりはじめ、そしてその変容をみた保護者の方々が以前に比べて学校行事やPTA活動に協力して頂けるようになっていきました。また、保護者同士の結びつきも強くなったと実感しています。

今年度は校舎改築に伴い夏休み以降は朝ごはんを提供できていませんが、歴代会長から受け継いだ、このプロジェクトを絶やすことのないように、再開に向け前進してまいります。





おにぎり握ってます

那須塩原市立関谷小学校令和3年度PTA会長 藤田 崇

朝ごはん食堂を開始してから今年で3年目を迎えます。朝ごはんを食べて来ている子、食べない子、食べられない子。全児童を対象に試行錯誤で始めたこのプロジェクトの最大の目的は何か朝ごはん食堂には決まりはありません。

食べたい子は誰でも来て食べたいだけ食べて教室に戻る、それで子供達の1日が少しでも変わるなら先ず無駄では無かったと思います。ただそれがこのプロジェクトの本当に求めている結果ではないと考えています。各家庭で朝食を食べるという習慣をつける事によって「学校で朝食が食べられるから良い」から「学校で朝食を食べなくても良いや」に変わっていく事が本当のこのプロジェクトの目的だと自分は考えています。

しかし子供達の笑顔や感謝の言葉を貰うとあまり難しく考える必要はないのかなとも思っています。学校と保護者が日頃から協力連携をして無理なく少しずつ、ちよつとずつ良い方向に向かった時こそが最大の成果だと思います。





朝ごはんプロジェクトへの思い

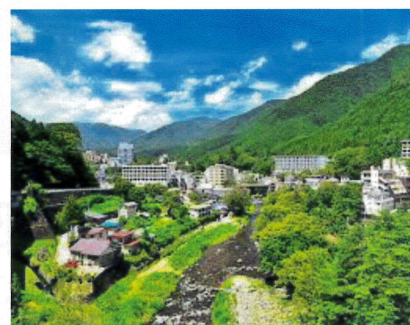
那須塩原市立関谷小学校令和2年度PTA会長 鈴木 直幸

本プロジェクトは、近年全国的に朝ごはんを食べずに登校する子供たちが目立ってきていることから、朝ごはんの重要性と食べることでどのような体の変化があるのか、実感してもらう為に始めたプロジェクトです。朝ごはんを食べてこない事情は色々あると思います。朝は食欲が無い、時間が無いなど他にも理由はあると思いますが、朝ごはんが子供の体づくりにとても重要である事を教え、そして体感してもらう事で子供たちの体の健やかな成長に貢献したいと思っております。本プロジェクトは本校PTA総務部役員により運営を致しております。普通では中々実現しないようなプロジェクトではありますが、起草から1週間で実施することが出来ました。これは多くの皆様方の素早い御判断によるところが大であります。アグリパル塩原の君島社長からは調理機材の無償貸与、味噌や野菜の御協力等を頂き、お米はPTA監事の平山岳夫さんの御協力を頂きまして第一回目を始める事が出来ました。そしてPTA総務部役員においては、石川真澄PTA会長に保健所の確認等、実際に調理するにあたっての技術指導そして徹底した衛生指導を調理師の立場から行って頂き、また抜群な企画力で本プロジェクトをけん引して頂いております。そして、今回のプロジェクトの御承認を頂いた、本校の山本幸子校長先生には多大なるご協力を頂いております。通常ではこのコロナ禍において御承認頂けない様なプロジェクトではありますが、快く即決して頂きました。我々が6時30分から学校で調理をする際には、調理器具の準備等を全て行って頂き、直ぐに調理に入る事が出来るようにいつも校長先生自ら準備をして頂いております。

多くの皆様方のご理解と御協力で本プロジェクトが出来ました事に、深く感謝申し上げます。子どもたちが朝ごはんの重要性を認識し、毎日美味しく朝ごはんを食べていてくれるようになっていたら幸いです。



那須塩原市の紹介



人口115,511人 (R4.4.1)
生乳生産量 本州1位

本校があります那須塩原市は栃木県北部に位置し、那須連山に囲まれた緑豊かな農村地帯です。市内には塩原温泉や板室温泉など素晴らしい温泉が数多くあり、人口は115、511人、生乳生産量は本州1位となっています。

数々の桜の名所やスキー場、関東一の規模を誇る百合パークなどもあり、写真のように四季折々の美しい自然を楽しむことができます。

本校の紹介



那須塩原市立関谷小学校

普通学級6学級 特別支援学級2学級

児童数146名 PTA会員数116名

令和5年4月1日 義務教育学校箒根学園へ

目指す学校の姿

○夢を育む楽しい学校 ○信頼される学校 ○地域と共に歩む学校

関谷小学校は、美しい田園風景が広がる地域にあり
全児童数146名の小規模校です。次年度の令和5
年度には箒根中学校区内の3つの小学校と1つの中
学校が統合され、義務教育学校「箒根学園」として
新たに生まれ変わります。

学校経営方針と具体的な取組

▶ ひとりも子供を諦めない教育の実現

▶ ～どんな子も一人にしない、見放さない

目指せ！子どもが来たくなる面白い(ワクワクドキドキする)学校～

- ▶ Ohyper-QUを活用した学級経営
- ▶ ○全校欠席ゼロ10回ごとの全校お楽しみ集会
- ▶ ○積極的な学校公開・授業参観
- ▶ OHPの毎日更新(平日)と子供の成長を伝える学校便り・学年便りの発行
- ▶ OPTA総務部による「朝ごはんプロジェクト」・「米作りプロジェクト」



子供たちにとってかけがえのない日々を一瞬たりとも無駄にすまいと子供たちに寄り添う中で、徐々に本校の課題が見えてきました。

具体的には、子供たちの自尊心の低さからくる規範意識の弱さ、不登校傾向児童の多さ、友達との人間関係がうまく築けない子の多さなどです。そうした課題を改善するために、上記のような取組を仕掛けてきました。朝ごはんプロジェクトもそのひとつです。

全校欠席ゼロ10回毎の全校お楽しみ集会



欠席を減らすために「全校お楽しみ集会」を新たに設けました。全校児童が登校できた日数が10日たったら縦割り班のお楽しみ集会を行うというものです。簡単なゲームを行い、得点やチームワークを競います。クリスマスには、全職員がサンタの衣装を身にまとい、合唱やハンドベルなどを披露します。保護者会からはお菓子セットのプレゼントもあります。大好きなお楽しみ集会ができるとあって、年々欠席が減り、令和2年度3年度と続けて欠席ゼロの日が年間35日を超えました。



本校PTA総務部について御紹介します。会長・副会長・会計・書記・顧問の8名からなり、非常に個性あふれる仲のよいメンバーです。一緒に長く活動したいという思いから顧問という役職も設けました。私たち総務部が目指すものは、「楽しい学校を作って子供たちに素敵な思い出をたくさん残してあげよう」ということです。そのためには学校が何を望み、何を必要としているかを敏感に察知して、それを即行動に移すことを心がけています。この写真は今年の運動会のものですが、先生方も役員もみんな仮装をして会場を沸かせました。学校のために、子供たちのために出来る事は何でもやろう、そのひとつが朝ごはんプロジェクトでした。

朝ごはんプロジェクトが始まった理由

朝食を食べない子供たちの不安定さ
学校が直面する児童指導上の様々な課題
コロナ禍における繋がりへの欠如



朝食を学校で食べさせて、子供たちの体と心を健康に育もう！



朝ごはんプロジェクトを始めてみて、子供たちの様子がいろいろ分かってきました。両親が共働きで忙しい、片親家庭で子供の面倒が十分に見られない、保護者が病弱である、あるいは、コロナ禍の影響で経済的に苦しくなってしまったなどの様々な理由から、朝食を摂らずに登校する子供たちがいることに気付きました。得てしてそういう子供たちは、朝から元気がなく生活面でも落ち着きがなかったり、友達とうまく人間関係が作れなかったりする傾向があることにも気付きました。

構想3日、実施まで7日間！ 総務部が発揮した**結束力と行動力**



臨時総務会



調理室視察・調理器具調達



試作会

朝ごはんの大切さを知らせる為の手段として、講話や文章で教える事も必要ではありますが、実際に朝ごはんを食べて体感してもらうことが一番早いであろうという事で、朝の時間を考えると学校で食べる事が出来たら最適であろうという事で、学校での朝ごはん提供を始めました。善は急げという事で、準備期間はたったの1週間というスピードで実施の運びとなりました。

実施に向けての課題と対応策

- 早朝に校舎を会場とすること→管理職のみが活動に参加する
- 自校の調理員さんへの配慮→調理員さんへの丁寧な説明・朝ごはんを届けること
- 保護者への配慮→試作会や試食会の開催・実施要項作成
- 衛生管理→保健所に確認・調理師免許所有者の存在



コロナ禍にあって学校で会食をさせることや、早朝に学校を開放すること、自校給食で徹底した衛生管理を行っている調理員への配慮など、直面する課題は山ほどありました。しかし、「まずはやってみよう！」と令和2年度の11月から「関小朝ごはんプロジェクト」はスタートしました。同様の取組をされている山口県の中学校の校長先生に電話をかけて相談したところ、「保護者がやるなんてすごいですよ。先生、ぜひやった方がいいですよ。」という一言で腹が決まりました。初年度は毎週月曜日、2年目からは毎週金曜日に「朝ごはん食堂」は開店しています。プロジェクト開始当初はPTA総務部の有志が自腹を切って食材を整えましたが、令和3年度には栃木県PTA連合会から研究指定を受け、研究費として補助金を20万円頂くことができました。勢いで始まったプロジェクトでしたが、2年目には実施要項等も作成し、万が一の食中毒保障も考え、PTA保険でのカバーする事も確認しました。偶然ですがここにいる石川会長が調理師免許を持っていたことはその後の活動を大きく支えてくれました。

塩むすびと味噌汁 からのスタート



令和2年11月16日に初回を迎え、「塩むすびと味噌汁」を提供しました。野菜を刻んだことのない不器用な手つきで一生懸命作った味噌汁と塩をまぶしただけのおにぎりでしたが、子供たちは大喜びでした。その後緊急事態宣言等が出されるたびに中断を余儀なくされましたが、コロナが落ち着くとすぐさま朝ご飯が提供されました。油を引かずにパンケーキを焼いたり、いなり寿司の油揚げがうまく開かず半分以上がボロボロになったりと毎回ピンチに追い込まれましたが、私たちはめげませんでした。子供たちの笑顔見たさに作ったことのないメニューにも果敢に挑戦を続け、毎週金曜日の朝6時になるとエプロンを抱えて集まりました。

足かけ3年 挑戦は30回も続いた



クリスマス献立



三色おにぎり(赤飯)



年明けうどん



卒業祝い献立



リクエスト献立



朝カレー

最初は塩むすびと味噌汁でしたが、子供たちの笑顔見たさにより高みを目指すようになっていました。わかめのおにぎり、赤飯のおにぎり、ついにはパンやホットケーキ、三色丼やカレーへと進化を遂げ、クリスマスにはロールケーキを、お正月には年明けうどんをとるように、季節を彩る献立が次々と生まれました。その効果から、来週は何だろうと子供たちの期待はどんどんと膨らみ、朝ご飯に90%以上の子がやってくるようになりました。

プロジェクトを支えた子供たちの 笑顔と「おいしかったよ！」



毎回の買い出し、お米や野菜の下ごしらえ、それだけでも実際は手間がかかります。朝の6時に集まってお茶碗の後片付けが終わるのは早くても9時です。そのまま会社へ行く人、スーツの上にエプロンを着ける人、御飯を作りながら仕事の打合せを電話でする人……。なぜそんなに頑張れるのかと聞かれても明確な答えはありませんが、子供たちの笑顔見たさ……。がその答えかも知れません。「おいしかったです。ごちそうさま！」と言われたら次も頑張るっきゃない、ということでしょうか。

友達や先生と楽しく食べる朝ごはん



学年が違う友達と並んで食べる食事は格別のように
でした。時には地域の議員さんがお手伝いに来て
下さって、調理後は子供たちと並んで朝食をとっ
てくれました。

朝ご飯は先生方や調理員にも食べてもらいました。
朝からごちそうなので、先生方も皆楽しみにして
くれていました。残ったおにぎりは毎回、放課後
の職員室でのおやつになりました。

朝ごはんプロジェクトは 米作りプロジェクトへ



朝ご飯を食べさせるなら、米作りから始めようと田植えが復活しました。役員の田んぼを借りて、5年生が田植えを行います。美しい自然に囲まれて身も心も洗われるような1日です。

10月には稲刈りです。せっかくだから稲を天日干しにしようと総務部皆で準備をしました。とれたお米は「関小米」とラベルを付けて全校生に配り、残りは朝ごはんプロジェクトで使いました。写真でも分かるように学校のために、子供たちのためにという熱い思いは会長から会長へと引き継がれてきました。

驚くべき地域のネットワークと総務部の熱い情熱



本校が所在している地区の誇るべき事は、地域のネットワークの素晴らしさです。食材を寄付してくださる方が次々と増えていきました。特に本校近くにある、道の駅アグリパル塩原の君島社長からは、四升炊き炊飯器や鍋の無償貸与、食材等多くの御支援を頂きました。

子供たちを送り出したお母さん方が配膳や後片付けなどのお手伝いに来て下さるようにもなりました。プロジェクトの輪は広がり続け、地域との連携も着実に深まりました。

ウクライナ支援のための ひまわりプロジェクト



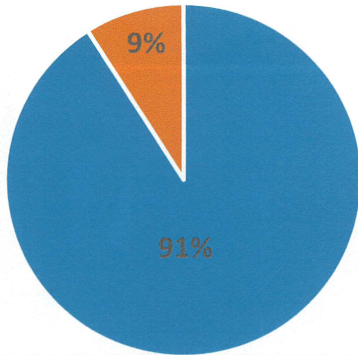
令和4年5月には、ウクライナ支援のための募金活動を行いました。ウクライナ料理のボルシチとワレニキという料理を提供したら、子供たちから募金活動をしたいという声が上がったためです。後援は総務部、リーダーは校長、主役は子供たちです。2時間の街頭募金と校内募金で集めた202,071円をユニセフに送ることができました。

募金のお礼に、朝ごはんプロジェクトから派生した米作りで収穫したお米をプレゼントしました。

子どもたちの声～アンケートから～

これからも朝ごはんプロジェクトを
続けてほしいですか

■ はい ■ どちらでもよい ■ いいえ



- とてもおいしいのでこれからも続けてほしい。
- 皆ニコニコになっている。
- 友達と食べられるので楽しい。
- あさごはんさいこう！
- 朝早くからごはんを作ってくれてありがとうございます。
- 次もぜったいに来る！

保護者の声～アンケートから～

○朝食プロジェクトなどとてもありがたいです。コロナでいろいろな行事がなくなり、まだ学校の楽しさをしれていない部分もありますが、これから行事など楽しいことが沢山増えることを願います。

○朝ごはんプロジェクトでは、いつも総務部の方々にお世話になっています。子供たちも楽しみにしています。

○朝食プロジェクトのPTAのお父さん方や、朝、見守りをしてくれているPTA会長さん、毎日おいしい給食を作ってくれている給食の先生もありがとうございます。関谷小学校はいい学校です。



子供たちのアンケートから拾った声は御覧の通りです。
続けてほしいと願っている子供たちは9割を超えました。

保護者の方からも御覧のように感謝の声が届きました。
1年目は急に始めたためご批判も頂きましたが、2年目以降はクレームなどはひとつもありません。

外部からの評価



2020年度
栃木県ベスト育児制度賞受賞



受賞理由

- 学校を会場としていること
- お父さん達が中心になって実施していること

「関小朝ごはんプロジェクト」の誇るべき点は、何と言っても全校児童が自由に参加できることと調理するのは皆、お父さんだということでしょう。毎回100人以上の子供たちがランチルームに集い、好きなおにぎりやパンを選び、手作り味噌で作った地元野菜たっぷりの味噌汁をすすれば、途端にどんな子も笑顔になります。一昨年度には大きく新聞で取り上げられたり、日本子育て制度機構という団体から栃木県代表としてベスト育児制度賞を受賞しました。

朝ごはんプロジェクトが学校にもたらした変化

- QU検査（居心地のよい学級作りのためのアンケート）の満足群が37%から70%へ増加
- 数名いた不登校・不登校傾向児童がゼロに
- 保護者からのクレームがゼロに



朝ごはんプロジェクトの目的は「朝ごはんをすべての子に提供することで心身を健やかに育み、地域と学校がつながり合って楽しい学校を作ろう」ということですが、その目的は実現されつつあります。3年前は不登校傾向の子供たちが複数いましたが、今では皆無となりました。また、QU検査という児童対象のアンケートでは、満足群に属する子供たちの割合が倍近くに増えました。

これからの学校は地域に開かれ、地域と歩むことが求められています。子供たちは友達や先生と一緒に朝ごはんを食べることで人との繋がりを実感したり、早朝から頑張ってくれる大人の方々へ感謝をしたり、様々な食材を提供して下さる地域の温かさを知ったりと、その心身はふるさとで豊かに育まれています。やがて彼ら自身が地域を支える大きな力に成長することでしょう。

感謝



朝ごはんプロジェクトは小さな学校のささやかな取り組みですが、そこから得られるものは計り知れないほど大きいと感じています。残念ながら校舎改築に伴い、7月15日をもって活動は終了となりましたが、それを支えた魂はこれからも関谷小PTA総務部に永遠に生き続けると思います。

最後にこのプロジェクトに御協力を頂きました皆様に深く感謝申し上げます。

プロジェクトメンバー

校 長	山本 幸子	PTA副会長	平山 岳夫
教 頭	高山 貞徳	PTA副会長	伊藤 宏
PTA会長	石川 真澄	PTA副会長	人見 愛樹
前PTA会長	藤田 崇	PTA会計	秋山 直道
元PTA副会長	薄井 孝嘉	PTA書記	小林 路子
前PTA副会長	藤田 進	PTA顧問	鈴木 直幸
PTA副会長	平山 徹		

令和3年度「関谷小学校朝ごはんプロジェクト」実施要項

1 目的

- (1) 朝食の良さや大切さについて理解することを通して、家庭における食育推進を図る。
- (2) 友達との「共食」を通して、人と関わることや食べることの楽しさを理解させる。
- (3) 食物や調理してくれる人への感謝の心を育む。
- (4) 朝食を取ることで体温を上げ、集中力と学力の向上を目指す。
- (5) 楽しい学校作りを推進し、不登校及び不登校傾向の児童数減少を目指す。
- (6) 地域・保護者・学校の協働性を高め、PTA 及び地域学校協働本部の特色ある取組を推進する。

2 主催者(責任者)

- (1) 関谷小学校 PTA 総務部が主催し、PTA 会長が責任者となる。校長と教頭は協力者として活動を支援する。

3 実施方法

(1) 期日・時間・会場等

- ア 令和3年6月から令和4年2月までの9か月間を3期に分けて実施する。
(第1期 6月～8月、 第2期 9月～11月、 第3期 12月～2月)
- イ 毎週金曜日 午前7時30分～午前8時10分(金曜日が祝日等の場合は実施しない)
- ウ 調理会場は調理室とし、児童はランチルームで食事をする。
- エ 参加希望の児童を対象とする。(事前に申込書を提出)

4 実施内容

- ア 令和3年度 PTA 総務部役員及び校長が調理室でおにぎりと味噌汁を調理し、児童に提供する。(おにぎり以外のものを提供する場合は事前に周知する。)
- イ 食材は地域住民・保護者・アグリパル塩原等から無償提供されたものと PTA 総務部・校長等の有志からの寄付でまかなう。(5年生の米作りプロジェクトで収穫した米も使用する予定。)
- ウ 食器は原則として使い捨て用の皿と調理室にある食器を使用し、調理器具は調理室の備品と地域から借り受けた業務用の機材を使用する。
- エ 参加した児童へのアンケートを毎回実施し、活動の成果分析や事業改善に活用する。また、アンケート内容や分析結果は広く地域や保護者に周知する。

5 実施における留意事項

(1) 衛生管理

- ア 保健所の指導・助言を厳密に守り、衛生管理の徹底に努める。(下記内容)
※学校行事等における食品提供の場合は許可は必要としないが、念のため保健所への相談を行い、指導・助言を仰いだ。

調理する人(食品等に触れる人)

- ・清潔な服装を心がける。
- ・爪を短く切り、清潔な白衣(エプロン)、帽子(三角巾)、履物を身につける。
- ・使い捨ての清潔な手袋とマスクを使用する。
- ・体調不良な人や手指に傷のある人などは調理しない。
- ・調理前は手指を十分に洗浄・消毒し、調理中もこまめに念入りに手洗いをする。

調理品目

- ・食材は流水で洗浄してからしっかり加熱調理をする。(生野菜は提供しない。)
- ・その場で調理したもの以外は提供しない。(漬物については加工品として売られているもののみ提供可能。)

調理場所・調理器具など

- ・調理器具は、洗浄・消毒したものを使用する。
- ・食品は使い捨て容器等の衛生的な容器で提供する。
- ・調理は、衛生的で、水道水など飲用適の水が十分確保できる場所で行う。
- ・原則として調味料と米、乾物以外の食品の保管は行わない。

その他

- ・実施に当たっては、知識や資格のある人の助言をもらう。
- ・調理は限定された人員が担当し、不特定多数の人は行わないようにする。

イ その他

- ①児童への提供20分前に校長が必ず検食を行う。
- ②提供した食品はサンプルとして冷蔵庫で2日間保管する。
- ③新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって実施の有無を随時検討する。
- ④本事業におけるけがや食中毒等については、総務部の代表が加入している PTA 総合保険により関谷小の全児童・保護者・教職員の保障が個人負担なしでカバーされている。
- ⑤本事業については那須塩原市教育委員会へ相談し、同意を得た上で実施するものである。

(2) 調理以外の業務分担

- ア 事業責任者 藤田 崇 (PTA 会長)
- イ 調理責任者 石川 真澄※調理師免許所有 (PTA 副会長)
- ウ 文書作成及びアンケート分析 鈴木 直幸 (PTA 会計・地域学校協働本部推進委員)

(3) 実施前の準備

- ア 事前に試作会を行い、その様子を希望する保護者に公開する。

(4) 教職員への配慮

校舎の解錠や会場準備等は管理職が行い、一般の教職員は本活動への参加はせずに通常業務に専念する。但し、用務員については活動終了後にゴミ出し等の手伝いを依頼する。

「学校朝食」の背景

学校朝食への取り組みが近年全国的に広がりを見せた背景には、朝食を毎日食べていない小学生の増加が理由として挙げられる。文部科学省が行った「全国学力・学習状況調査」の調査結果によると、毎日朝食を食べていない子どもは全国の小学生のうち 15.2 %いる。2005 年に制定された「食育基本法」を元に定められた「第 3 次食育推進基本計画」では、2020 年までに朝食を欠食する子どもの割合を 0%にすることを目標として掲げており、子どもたちの毎日の朝食摂取の習慣化は国として重要視されている。

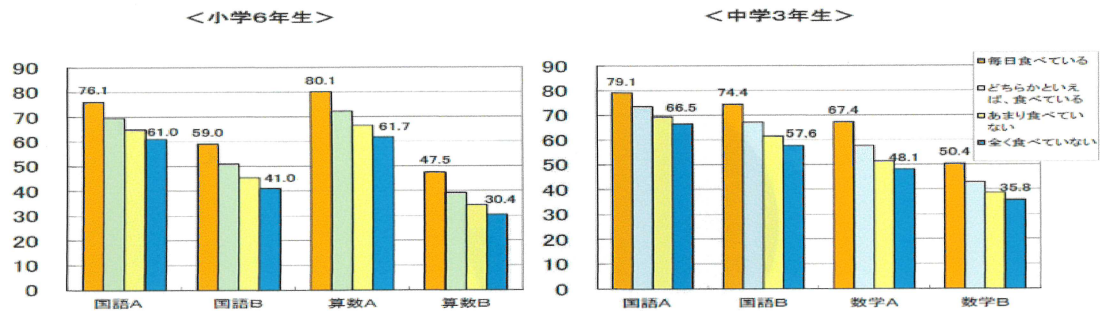
学力・体力との関係

文部科学省とスポーツ庁の調査によると、朝食を毎朝食べている子どものほうが、食べていない子どもに比べ平均正答率や体力合計点が高い傾向にある、という結果が出ている。文科省の資料によると、脳のエネルギー源となるブドウ糖は最大 12 時間分しか身体に蓄えられないといわれており、朝食を欠食すると脳がエネルギー不足となるため、学力にも関係すると推測される。就寝時間が 22 時以降など遅かったり、運動量が少ない子どもほど朝食を食べない傾向になり、家庭の生活習慣を見直し、夕飯や就寝の時間を早める、子どもの運動量を見直すなど、子どもが朝食を食べられる状況になるよう家族で取り組んでいけるとよい。

朝食の摂取と学力との関係

毎日朝食をとる児童生徒ほど、学力調査の得点が高い傾向

○朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係

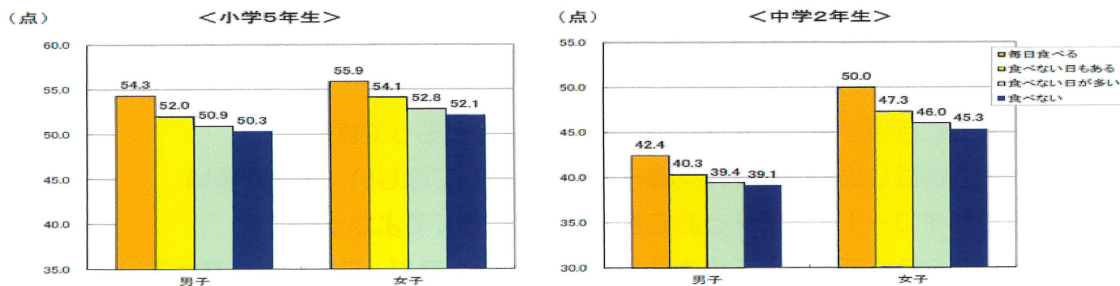


文部科学省「平成29年度全国学力・学習状況調査」
(Aは主として「知識」に関する問題 Bは主として「活用」に関する問題)

朝食の摂取と体力との関係

毎日朝食をとる児童生徒ほど、新体力テストの得点が高い傾向

○朝食の摂取状況と新体力テストの体力合計点との関係

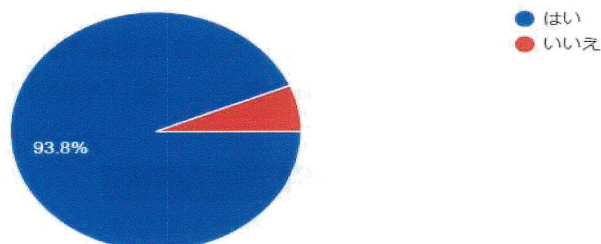


スポーツ庁「平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

令和2年度「関谷小学校朝ごはんプロジェクト」実施後の児童アンケート結果

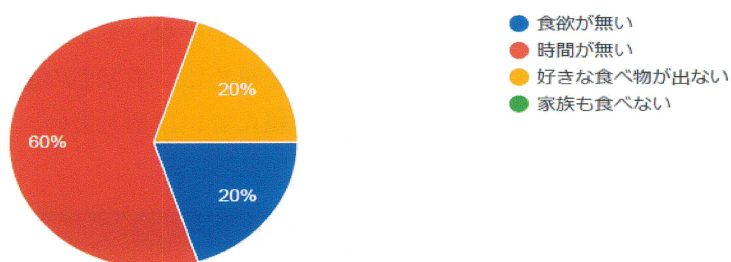
おうちで毎日朝ごはんを食べていますか？

80 件の回答



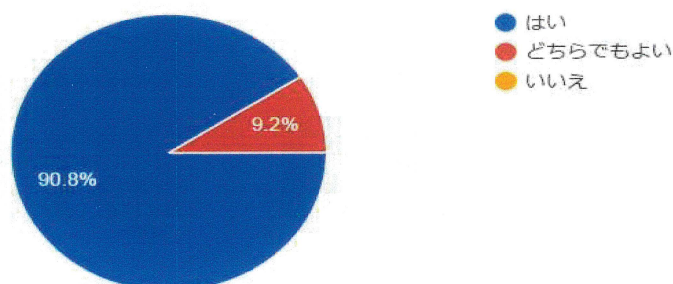
食べない理由

5 件の回答



これからも学校朝食を続けてほしいですか？

87 件の回答



- ・学校朝食がおいしかったので、ごはんこれからもつづけてほしいです。(4件)
- ・おにぎりの塩の味がすこしうすかった。(3件) ・おいしかったです。(8件)
- ・おにぎりに具をいれてほしいです (3件) ・みそしるの味がこいと感じた。
- ・うますぎる。・また来たいです！ ・もうちょっと、おかわりを、ちょっと冷たく。
- ・これからもつづけてほしいです。(おいしいので、もっとちいきの人たちに知らせたいです。)
- ・今日は様々なおにぎりがあって味をたのしめた。・水とうもってきたい。
- ・月曜日などの週のはじめではなく、火曜日などからにしてほしい。荷物が多い
- ・やきおにぎりサイコー！ ・みそ汁とおにぎり、あたたかくてよかったです。
- ・やきおにぎりがかたくて、のみこめませんでした。・みんなが、にこにこになっているから。
- ・もっといろいろなしゅるいをつくってほしい。
- ・やきおにぎりのかたさをやわらかくしてほしい。(3件) ・できればいつもくる。

保護者の声(令和2年度学校評価より)

- 朝食プロジェクトのPTAのお父さん方や、朝、見守りをしてくれているPTA会長さん、毎日おいしい給食を作ってくれている給食の先生もありがとうございます。
- 子ども達は元気に学校へ行っています。最近始まった朝食プロジェクトなどとてもありがたいです。
- 朝ごはんプロジェクトもとても楽しみにしています。朝ごはんが苦手なのでとても助かっています。
- 朝ごはんプロジェクトが始まり、PTA 役員の皆様には感謝です。仕事もあるにもかかわらず、忙しい朝に朝食を準備して頂き、子供たちへの想いが伝わってきます。先生方も保護者も子供たちのために できること、良くなることを考えて、これからも先生方と一緒に関谷小の子供達に素晴らしい学校で良かったと思えるような学校作りをしていきたいです。
- 朝ごはんプロジェクト、いきなり始まり、いきなり終わりますが、まず始める前に保護者にアンケートをとるべきだったと思います。子供たちは喜んでいましたが、親からしたら迷惑な話でした。毎日しっかりご飯を食べていくのに月曜日だけ、食べない。軽いものが良いと言われ大変でした。家族で朝しっかり食べて今日も1日頑張ろうと話をするので、食べないと言われると家族も心配になるみたいでした。
- 朝ごはんプロジェクトについて、任意なのか半強制的なものなのか…。家で食べさせる量の都合上、明確にしていきたいです。
- 朝ごはんプロジェクトは今年で終了ですか？それとも来年度まで続くのですか？何事も保護者にも意見を聞いてから行うべきだと思います。



